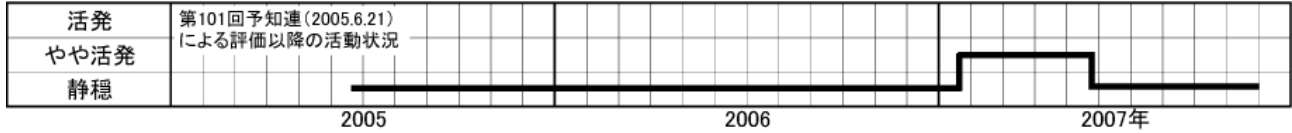


御 嶽 山

○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。



最近の活動の推移

○ 火山活動の状況

・ 噴気など表面現象の状況（図 1、図 2 - ①）

三岳黒沢（剣ヶ峰の南東約 14km）に設置してある遠望カメラでは、山頂付近のごく少量の弱い噴気が時々観測されました。

・ 地震や微動の発生状況（図 2 - ②③、図 3）

山頂付近の浅い所を震源とする火山性地震の発生回数は少なく地震活動は静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図 2 - ④⑤⑥）

GPS 連続観測では、2006 年 12 月から見られていた御嶽山の地下の膨張を示すわずかな伸びの変化は、2007 年 4 月以降ほぼ停止した状態で経過しています。



図 1 ※ 御嶽山 南東側から見た山頂部の状況（10 月 31 日 三岳黒沢遠望カメラによる）

※ この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、名古屋大学、独立行政法人防災科学技術研究所、長野県及び岐阜県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

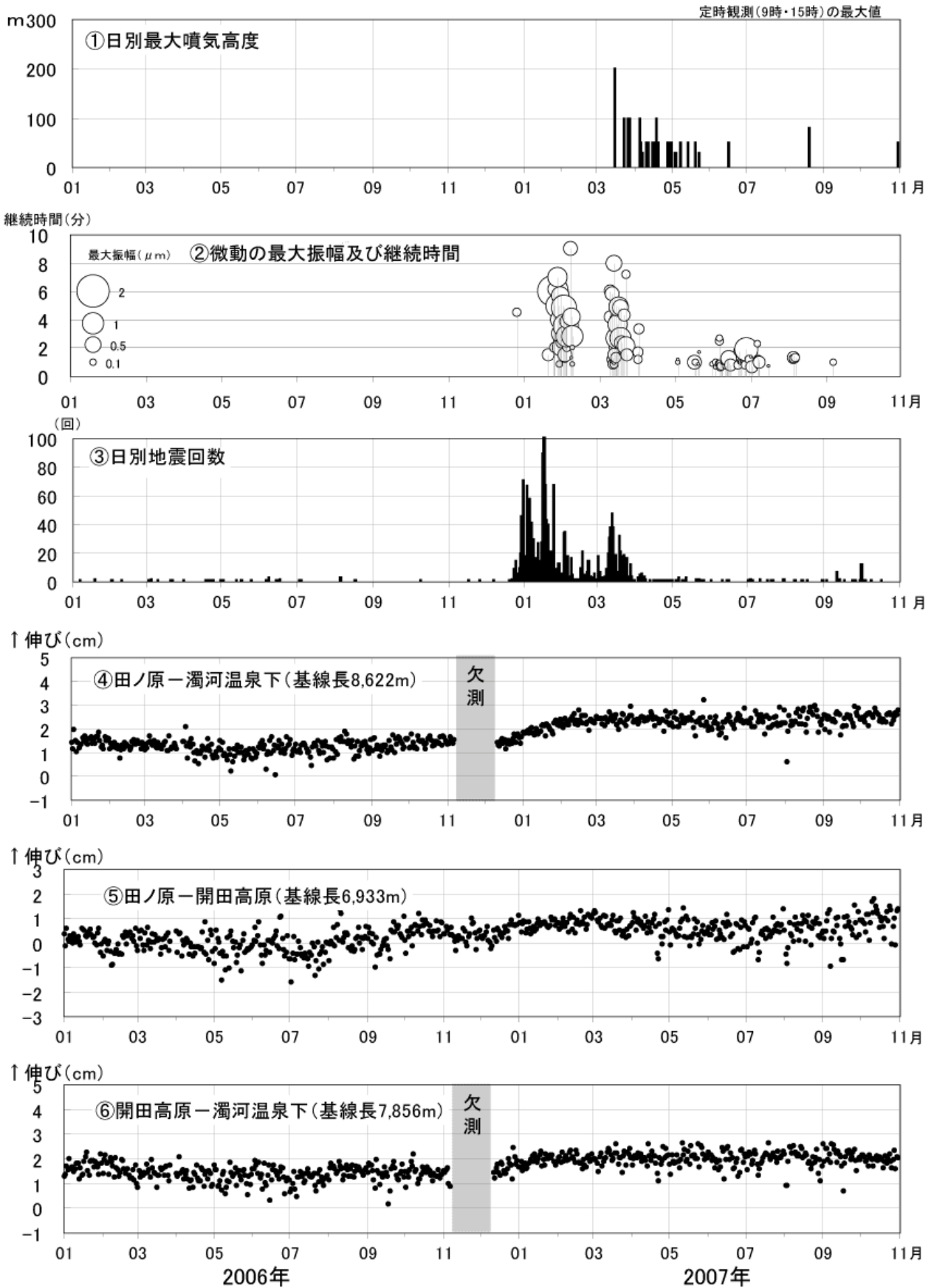


図2 御嶽山 最近の火山活動の推移(2006年1月1日~2007年10月31日)

図中④~⑥は図4のGPS基線④~⑥に対応しています。

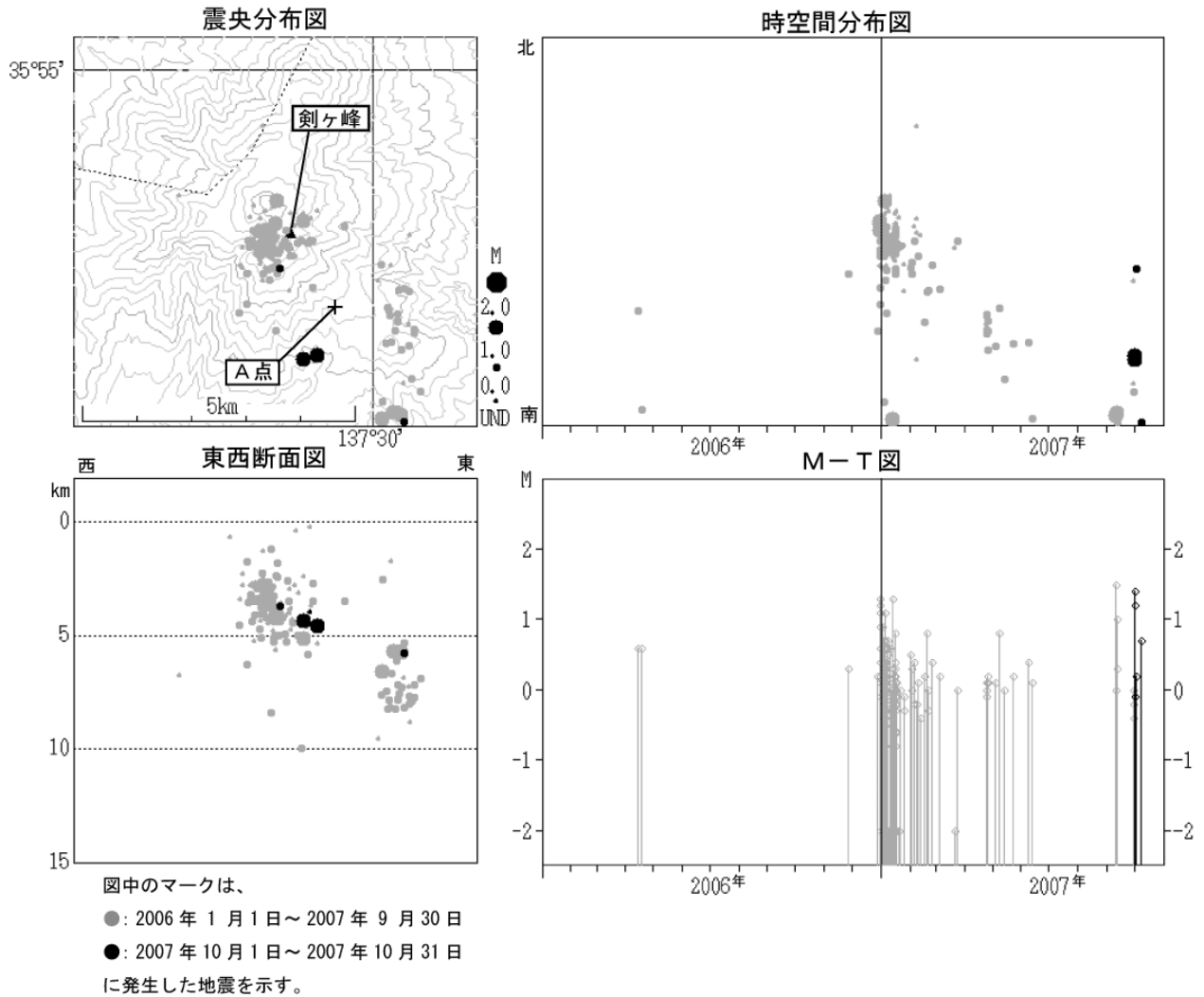


図3※ 御嶽山 山頂付近の地震活動（2006年1月1日～2007年10月31日）
 +印は気象庁地震観測点（A点）の位置を示しています。M（マグニチュード）は地震の規模を表します。図中の震源要素は一部暫定値で、後日変更することがあります。

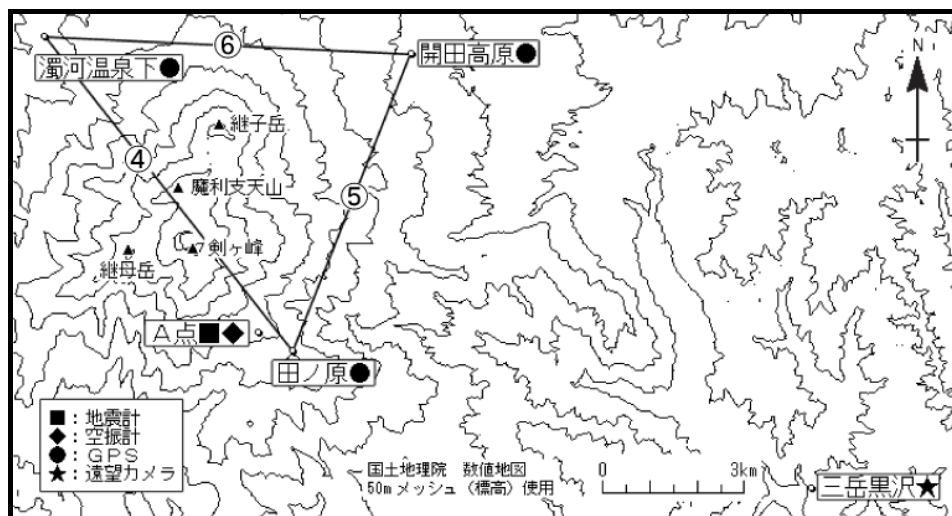


図4 御嶽山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）
 図中のGPS基線④～⑥は図2の④～⑥に対応しています。